

市社協通信

開催御礼！

発行・編集／社会福祉法人 広島市社会福祉協議会
〒730-0052 広島市中区千田町一丁目9-43 (広島市社会福祉センター内)
TEL 082-243-0051 FAX 082-243-0032
URL : <http://www.shakyo-hiroshima.jp/>
E-Mail : chiiki@shakyohiroshima-city.or.jp

第19回全国ボランティアフェスティバルひろしま **速報**



つながる民力 いかしあう民力

▶ テーマトークの様子



▲大会での交流の様子

大会テーマは「つながる民力 いかしあう民力」でした。

ひろしま大会では、えひめ大会の成果を受け継ぎ、「しみいった力が、つながりあい、さらにいかしあう」ことによって、新しいチカラを生み、これが新たな社会課題や生活課題を解決していく民力として高められていくことをめざしました。

全体会テーマトークは「民力による社会問題への挑戦」。新しいつながりがあたらしい解決力を生むということを実証する内容でした。

22の分科会は、これまでの活動分野の枠をこえて、新たな協働のかたちを探り、新たなささえあいのしくみによる活動をどうおこし、つなぎ、伝えていけばよいか、をキーワードに運営されました。

参加者同士が「つながる」ことを大切にした大会。2000名を超える「新しいチカラ」が、平和都市ひろしまに集い、つながり、全国に広がっていきました。



▲閉会式(来年度開催地：東京都への引き継ぎ)の様子

各記事につけられた以下のマークは、その事業が本会「地域福祉推進第6次5か年計画」のどの基本目標に属するかを表しています。



さすけあひ



ささえね



ひろめね



ことのえね

地区社協訪問

「住み慣れた地域で安心して暮らすために」

中区基町地区が築く、高齢者地域見守りネットワーク

「地域住民・関係機関が一体となった高齢者への見守り活動」



第45号から、新たに「地区社協訪問」のコーナーを設けました。広島市内各地で数多く取り組まれている地区社協活動の中から、特色のある取り組みをご紹介します。

第3回目は、中区の基町地区社協です。

《基町の概要》

基町は、広島市内の中心部にあり、多くの主要な商業施設を含む地域で、高層住宅なども立ち並んでいる街です。

今回は特に広島市域で最も高齢化率の高い地域で、高齢者が気軽に立ち寄り、交流や情報交換、参加者同志が安否確認等を行う相互の見守り体制づくりで特色のある取り組みについてご紹介します。

〈データ〉 (平成22年3月31日現在)

人口:	5,109 人
世帯数:	3,565 世帯
高齢者数: (65歳以上)	2,075 人
高齢化率:	40.6 %



高齢者の立ち寄り所 (ほのぼの基町) 開設について

目的

基町地区は、高齢化率が40.6% (中区19.8%) と高く、一人暮らしの高齢者も多い地域です。特に一人暮らし高齢者の見守りについては、民生委員及び地区社協のボランティアによる安否確認や見守り活動を行っていますが、対象者が多いため限界となっていました。

また、従来行っていた民生委員による見守り活動 (ひとり暮らし老人巡回相談事業) が平成16年に廃止となったことがきっかけとなり、民生委員だけでは活動の負担が大きく、地域ぐるみで高齢者を支えるネットワークを作ることの必要性が出てきました。

このため、高齢者が気軽に立ち寄り、交流や情報交換、相互の安否確認等を行う自主的な相互見守り体制づくりを推進するための「立ち寄り所」を市営商店街の空き店舗に設置し、また同所を基町地区社協の活動拠点として事務所機能等を整備することにしました。

立ち寄り所の必要性

①基町地区は、地区内にある住宅のほとんどが単身、小家族向けの市営住宅で構成されており、高齢化率が高く、一人暮らし高齢者も多い地域です。平成17年度には孤独死が年間13件発生しています。民生委員を中心とした安否確認、見守り活動に加え、地区社協ボランティアも協力して実施していますが、見守り対象者が多く、限界となっています。

これらのことから、高齢者が自ら気軽に出かけられる「行き場」や「コミュニティの場」を商店街の中に設け、高齢者が集うことで相互の安否確認となるばかりでなく、商店街の活性化につながることを期待しています。



ほのぼの基町

②基町地区社協は、広島市社協の「新・福祉のまちづくり総合推進事業」により近隣ミニネットワークづくり推進事業、ふれあい・いきいきサロン設置推進事業、そして、地区ボランティアバンク活動推進事業等を実施していますが、これらの活動を円滑に積極的に実施するためには活動の拠点となる事務所が必要 です。

③「ほのほの基町」が開設したことにより、住民がお互い支え合い、より一層潤いのある基町になること、地域の人たちがふれあう機会を持つことで気晴らしのひとときを過ごす時間と場所になること、そして、立ち寄って引きこもりの孤立感を解消する手助けになることで、「遠くの親戚より近くの他人」を実感できれば素晴らしいことだと思えます。

今後の課題

基町地区社協の徳弘会長は、今後の課題として、
 ・多くの住民が参加できる機会を設けにくい
 ・地域の諸活動の担い手がなかなか育たない
 (高齢化による)
 ・地域の諸活動について、その中にある団体だけでは限界がある
 ・行政のサービス(制度)の情報がもっと早く知りたい
 ・サービスを必要としている人が潜在化しており、状況の把握が難しい
 などを挙げています。

このような課題については、「地域性によってその内容が様々であり、日常生活に密着したものであることから、きめ細かな対応が必要」とも話されています。

また、「高齢者が高齢者のお世話をせざるを得ない状況の中で、『好きな人がやればいい』(無関心)の人任せでは、逆に誰も自分のことを見てくれる余裕がない時代になっていきます。また、若い人たちだけに自分たち高齢者を任せるというのも虫のいい話だと思います。基町では基本的に『私たちの世代が私たちの世代を助け合っていくしかない』ことを自覚して、みんなが元気な基町を目指したい。」と思われています。



徳弘会長

最後に、「基町の高齢者のことを一番に誰が心配をするのでしょうか?行政でしょうか?いえ、違うように思います。地域性があつて基町に即した、きめの細かい適切な対策や地元について抱く危機感は、やはり住民ならではないのです。基町のことには基町でやるしかないのです。最終的には隣近所に頼るしかないと思います。お互い様なのです。近くの他人同士でお互

いを見守り合う近所の絆が必要なのです。」と話されています。

取材を終えて

基町地区社協の見守り活動の特色は、何といっても、立ち寄り所(ほのほの基町)から得る情報の多さではないかと感じました。「最近あの人見ないね。」「どうしてるのかな。」など立ち寄り所のおしゃべりから得た情報が、関係機関などによる安否確認に生かされており、立ち寄り所での活動もまた、見守り活動に繋がっていることを学ばせていただきました。

まさに、地域住民・関係機関が一体となった素晴らしい取り組みです。



平和公園一斉清掃について

8月6日に挙行される平和記念式典に先立ち、広島市公衆衛生推進協議会・広島市主催で平和公園一斉清掃が今年も行われました。市民・企業の参加協力を得て、環境美化の一環として、また、平和意識の高揚を図るため、会場となる平和公園を一斉に清掃しました。

この一斉清掃には例年約2500名が参加し、老人大学・老人大学院にも協力依頼があります。学生も自治会活動の一環として積極的に参加しています。当日は午前7時15分から主催者の挨拶で開会し、市長も一緒に清掃作業をされました。

今年も例年になく猛暑日でした。「清掃の後のお茶はとても美味しい。」と、老人大学・老人大学院の皆さんも暑さに負けないで元気に活躍されました。また、老人大学・老人大学院では、12月にも平和公園クリーンボランティア（清掃奉仕）として、清掃作業を行う予定です。

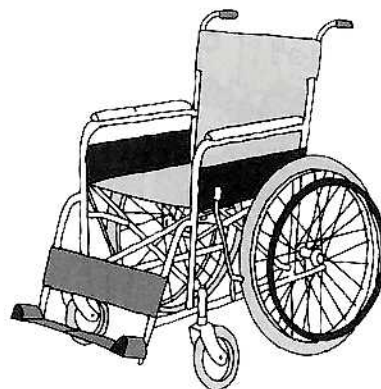


▶平和公園一斉清掃に参加する老人大学・老人大学院の学生の様子



皆さまからの寄付による事業

車いすの貸出し



広島市社会福祉協議会および各区の社会福祉協議会では、けがや病気で緊急一時的（原則2カ月以内）に車いすが必要となった場合や、学校や地域で福祉体験学習を行う場合などに、無料で車いすを貸出しています。

現在は、より身近な地域で車いすの貸出しができるように、地区社協の活動拠点等（公民館、集会所等）にも車いすを設置し、利用してもらう取り組みを展開しており、平成22年3月末現在、市内に100箇所の車いすステーションを設置しています。

詳しくは、広島市社会福祉協議会またはお住まいの区社会福祉協議会にお問い合わせください。

（広島市社協 TEL・243-0051）

この活動には、皆様からご寄付いただいた車いすを活用しており、昨年度は計53台の車いすをご寄付いただいております。

老人大学祭

ぜひ皆さん、お越しください。

2010年

10月30日(土)と31日(日)

10:00~15:00

広島市社会福祉センターで開催

毎年10月頃に開催される老人大学祭は、サークル活動などを含めた日ごろの成果を発表する、大きなイベントです。

今年も10月30(土)・31(日)の両日、10時から15時に広島市社会福祉センターで開催されます。

老人大学・老人大学院の合同で大学祭実行委員会が立ち上げられ、8月中旬から各係で大学祭当日に向けての準備が進められています。老人大学・老人大学院の学生のパワー溢れる大学祭にぜひ皆さん、お越しください。



▲老人大学祭の様子(平成21年度)▲

まごころ銀行への
ご協力ありがとうございました

本会まごころ銀行に、次の皆さまから寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。
(平成22年3月16日・平成22年9月6日・敬称略)

●一般寄付預託者

広島市社会福祉協議会職員有志、アミハラ広島店
田村 胖、そごう・西武労働組合広島市局
他1件

●香典返し・祝い返し・見舞い返し預託者

雲津 勤、下宮 博樹、島本 登夫
他1件

●物品預託者

【よしもと紙屋町劇場公演チケット】
中心市街地にぎわい創出推進協議会

皆さまからお寄せいただいた浄財は、高齢者・児童・障害福祉など明るい地域社会を築くために活用させていただきます。



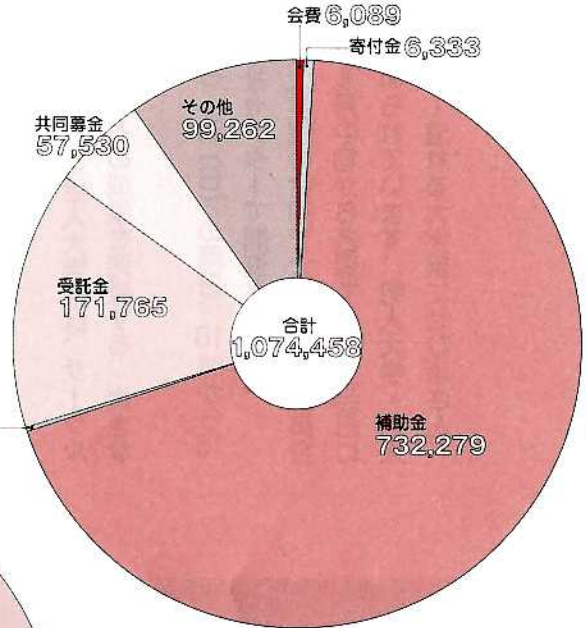
まごころ銀行では、香典返しなどの慶弔礼金、チャリティバザーやコンサートの収益金など善意の預託(寄付金)をお受けしています。
お問い合わせ・ご相談は
広島市社会福祉協議会
TEL 243-0051
FAX 243-0032

平成21年度 広島市社会福祉協議会 決算報告

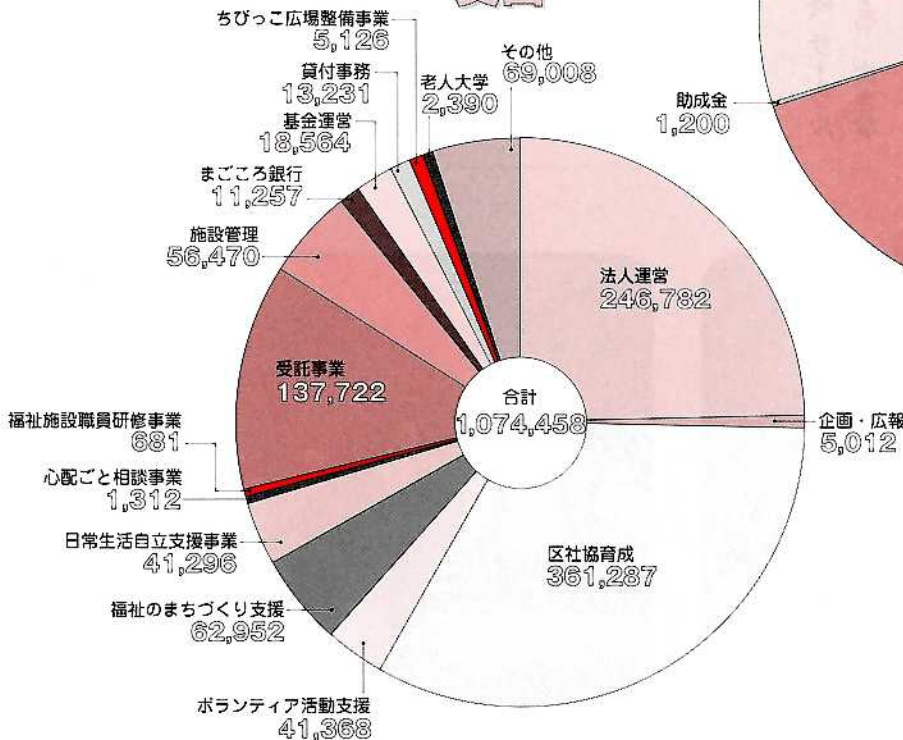
〔決算〕実質収支（※貸付事業特別会計を除く）

収入

単位：千円



支出



おかげさまで、平成21年度も無事事業を終了することができました。ありがとうございます。



賛助会員への協力
ありがとうございます

次の方々から賛助会員のお申し込みをいただきました。

〔平成22年 3月16日～平成22年 9月6日（敬称略 順不同）〕

法人 83社 113口

(株)メルファム中国支社、(株)弘法、(株)玉屋、広島荷役(株)、社団法人インテリア産業協会中国支部、三栄産業(株)、広電建設(株)、(株)広島タクシー、(株)日本パーカーライジング広島工場、広島信用金庫、社会福祉法人順源会、東洋観光(株)、広島特殊織物(株)、広島修道大学、(株)インパルスコーポレーション、広島電鉄(株)、(有)日基リース、医療法人メディカルパーク野村病院、広島インテリジェントホテルズ、日本基準寝具(株)、(株)大野石油店、広島運輸(株)、(株)アデルセン・パン生活文化研究所、テンパール工業(株)、中国高圧コンクリート工業(株)、中国企業(株)、学校法人安田学園、(株)万惣、学校法人石田学園、(株)中電工、(株)広島ホームテレビ、(株)広島バスセンター、(株)テレビ新広島、(株)中国サンネット、医療法人社 困いでした内科・神経内科クリニック、医療法人信愛会 日比野病院、マツダ(株)、(株)中国新聞社、中電環境テクノス(株)、医療法人社団光仁会槻川病院、医療法人社団玉章会力田病院、医療法人社団朋和会西広島リハビリテーション病院、医療法人社団一陽会原田病院、医療法人和同会広島パークヒル病院、医療法人社団仁和会児玉病院 医療法人和同会広島シーサイド病院、医療法人社団恵愛会 安佐病院

個人 886人 1,685口



ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。これからも、地域福祉を推進する本会をご理解いただき、さまざまな地域活動に積極的に参加していただくとともに、賛助会員としてご支援・ご協力をぜひお願いします。

改めて、地域社会のきずな(絆)を強く

広島市社会福祉協議会 会長 古川 隆

今、「高齢者の所在不明」が世間を騒がしています。それに端を発して、「戸籍上は残っている」「年金は支払継続中」「住所の筈が空き地」といった現象を背景に、「行政のあり方」「家族とは何か」「地域の社会関係の希薄」などが、問われています。戦後、「世の中」は大きく変わりました。その中でも変化の著しいものは、「社会」といえるでしょう。

「社会」を形成しているのは、「家族」「地域社会」「組織」「国家」など多くありますが、このうち「家族」は、もともと、人々の生活が始まるに従って、最初に生まれてきた基礎的な集団といえるでしょう。

戦前の「家族」の機能は、家父長制の下「婚姻」「育児」「介護」「愛情」「社会性の育み」などが中心であったと思われる。

第二次大戦後は「家父長制」がまず無くなり、戦前にすでに見られていた「核家族」が急速に普及しました。

価値観の多様化してきた今現在では、「家族」という言葉も一律に考えられなくなっているようになってきています。実態も①親と血縁関係のある子ども(今も標準的とは言えるでしょう)が②親の一方しか血縁関係はない③両方とも血縁関係はない。さらに④母子家庭⑤父子家庭、⑥結婚・離婚という過程を経ない最初からのシングル家庭⑦同居しない家族など形態も多く、経済的にも誰が主体なのかははっきりしません。

しかも、家族の間の「倫理観」も変わり、メディアに報道されるような「家族内部の刑事事件」も頻発しています。こうした状況の現在の「家族」は、良い悪いは別として、もう決して元には戻らないでしょう。

一方、「地域社会」においても「連絡」「共生」は薄れてきています。しかし、この「地域社会のひずみ」は、「地域社会」そのものの中に解決策を見出していくのが妥当と思われまます。その為には地域の中の「絆」の強化を図っていくこと、すなわち、社協などの地域活性化や福祉に関係する人々が、

- ① 地域の方々には手軽に出来ることから参画してもらおう。
- ② 社会貢献というボランティアに携わりたい人々は多様だが、サービスを受けたい、困っている人々も多様なので、試行錯誤の中で、上手な組み合わせに、取り組む。
- ③ そうすることで、ボランティアの新たな才能を発見し、人々に、社会での役割を自覚し、自己実現を図ってもらう。

これらのことには、行政と共に取り組むことが、解決に至る一つの道筋となるでしょう。

共同募金が始まりました



今年も、10月1日に募町クレド広場において、厚生労働大臣、中央共同募金会会長のメッセージが広島県知事、広島市長、共同募金会会長に伝達され、「くこのえ」の町を良くするしくみ」を全国統一スローガンとして共同募金運動がスタートしました。

少年高齢社会が進展するなか、福祉において、厚生労働大臣、中央共同募金会会長のメッセージが広島県知事、広島市長、共同募金会会長に伝達され、「くこのえ」の町を良くするしくみ」を全国統一スローガンとして共同募金運動がスタートしました。

昨年度の広島市の共同募金は、アメリカのサブプライムローンの破綻以降、日本国内においてもたいへん厳しい経済情勢の中での実施が続いており、皆さまの献身的なご支援により、募金目標額1億2,200万円に対して募金額9,588万2,200円の協力を得ることができました。

これもひとえに、多くの市民に励まされ支えられたの成果であり、町内会、自治会の後援の皆様をはじめ、市民各位の深いご理解とご支援によるものであると、心よりお礼申し上げます。

一方で、共同募金運動は、近年の厳しい経済状況、社会関係の希薄化や価値観の多様化などにより、再び「絆」のあるこの指標を直すべく、町内会、自治会などを通じて分かりやすく、透明性のある、参加しやすい運営と情報公開を行い、新しい町文化の創造を目指していく必要があります。

こうしたなか、本年度も1億2,200万円を募金目標として「赤い羽根共同募金運動」に取り組まれますので、昨年同様にご賛助の協力が達成できますよう、格別のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

平成22年度
共同募金へのご協力
よろしくお願いします!



お問い合わせ先

☎243-0051
FAX243-0032

広島市共同募金会
〒730-0052
中区千田町1-9-43
広島市社会福祉センター内



10月1日▶12月31日

広島市社会福祉センターの 会議室やホールをご利用ください。

社会福祉法人 広島市社会福祉協議会

〒730-0052 中区千田町1-9-43

広島市社会福祉センター内

☎243-0051

FAX243-0032

URL <http://www.shakyo-hiroshima.jp/>



社会福祉センターは、市民の生活文化の向上と社会福祉の増進を図るために設置された施設です。

このセンターには、ちょっとした会議やミーティングなどに利用できる大小の会議室や講演会などが開催できる最大定員350名のホールなどがあります。

皆様のご利用をお待ちしております。

所在地：広島市中区千田町1-9-43

(中消防署の正面向い)

TEL (082) 243-0051 FAX (082) 243-0032

利用時間：午前9時から午後9時まで

休館日：毎月第3日曜日・8月6日・年末年始

(12月29日～翌年1月3日)

受付時間：平日 午前8時30分から午後5時15分まで

土日・祝日 午前9時00分から午後5時15分まで

(休館日を除く)

▼▼▼本会ホームページ内に詳しく紹介しています。▼▼▼

<http://www.shakyo-hiroshima.jp/riyo/index.html#sub1>

安心を支えます

ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

<http://www.fukushihoken.co.jp>

特長

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

ボランティア行幸用保険

地域福祉活動の一環として行うボランティア活動に関する各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間保険料 Aプラン 280円 Bプラン 420円 天災タイプも
あります

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをに用意しておりますので、取扱代理店にお問合せください。

お申込み、お問合せはあなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
団体契約者 全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と、一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル7F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社